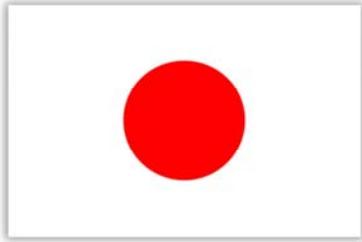


平成25年度
苫小牧市こども国際交流事業

中学生フィリピン派遣団



報告書



平成25年8月1日(木)～8月5日(月)

フィリピン共和国 マニラ

苫小牧市

目 次

派遣団名簿	1
事業概要	2
日程表	3
「こども国際交流事業派遣事業を終えて」 団長 苫小牧市立青翔中学校 校長 及川 信道	4
「中学生フィリピン派遣団に参加して」 リーダー 苫小牧市立光洋中学校 逢坂 晴菜	5
旅行記	6
体験記	11
研究報告	15
旅の思い出（写真）	17



ナショナル・ユース・コミッションにて

中学生フィリピン派遣団名簿

引率者

	所属		氏名
団長	青翔中学校	校長	及川 信道
アドバイザー	苫小牧東中学校	教諭	石田 憲一
事務局員	苫小牧市市民自治推進課	主事	柘田 崇之

団員

	学校	学年	氏名
リーダー	啓北中学校	3年	伊藤 春風
リーダー	光洋中学校	3年	逢坂 晴菜
	苫小牧東中学校	2年	尾形 ひかり
	明日中学校	2年	越田 華成
	明倫中学校	1年	児玉 一輝
	啓北中学校	2年	小玉 紬
	苫小牧東中学校	2年	島瀬 和
	開成中学校	1年	月足 雪乃
	青翔中学校	2年	松村 凜香
	光洋中学校	2年	八木 堅三



7月30日出発式

事業概要

●目的

市内の学生を海外に派遣し、子供たちとの交流や文化や習慣に直接触れることで、国際的な視野を持つ人材の育成や友好関係を構築する。

●訪問国（都市）

フィリピン共和国（マニラ）

●協力

独立行政法人国際協力機構（JICA）

●事業工程

月日	曜日	時間	内容	備考
5月28日	火	17:00 ～19:15	選考面接 (作文・面接による選考)	
6月11日	火	18:00 ～19:30	結団式・第1回事前研修 (説明会)	
6月18日	火	18:00 ～20:00	第2回事前研修 (フィリピン講座)	フィリピン人 講師
6月25日	火	18:00 ～20:00	第3回事前研修 (団結ゲーム・グループ分け)	
7月 2日	火	18:00 ～20:00	第4回事前研修 (リーダー決定・交流先の説明)	
7月 9日	火	18:00 ～20:00	第5回事前研修 (フィリピン講座)	フィリピン人 講師
7月16日	火	17:00 ～20:00	第6回事前研修 (交流の練習)	
7月23日	火	17:00 ～20:00	第7回事前研修 (発展途上国について研修)	国際理解講座 へ参加
7月30日	火	17:00 ～20:00	出発式・第8回事前研修 (市長表敬・交流の練習)	
8月 1日 ～5日			フィリピン訪問	
8月12日	月	18:00 ～20:00	帰国報告会準備①	①②のほか、 期間中グルー プごとに数回 準備
8月27日	火	18:00 ～20:00	帰国報告会準備②	
9月 2日	月	18:00 ～20:00	帰国報告会	

日 程 表

4泊5日【宿泊：ベルジャヤ マカティ ホテル】

	月 日	曜 日	時 間	場 所	内 容	移 動	食 事
1	8月1日	木	11:45	市役所	市役所発 12:15 新千歳空港着 13:00	専用バス	昼:各自 夜:機内食
			13:30	新千歳空港	新千歳空港発 14:10 成田空港着 16:20	航空機	
			17:00	成田空港	成田空港発 19:00 マニラ空港着 10:30	航空機	
			0:00	マニラ	ホテル到着	専用バス	
2	8月2日	金	8:30	ホテル	ケソン市へ	専用バス	朝:ホテル 昼:多国籍 バイキング 夜:しゃぶしゃぶ
			9:30	ケソン	セント・フランシス聾学校		
			14:00	マカティ	Gen. Pio der Pilar National High School(公立中学校)		
			15:30		JICA フィリピン事務所訪問・研修		
			17:30		スーパーマーケットでショッピング		
3	8月3日	土	8:00	ホテル	来苦経験のある大学生と合流	専用バス	朝:ホテル 昼:チキン料理 夜:ハンバーガー
			午前	マカティ	来苦経験のある大学生との交流 ・ナショナルユースコミッション(NYC)		
			午後	マニラ	大学生とグループで市内を散策 ・マーケットマーケット ・モール・オブ・アジア		
4	8月4日	日	午前	ラスピニヤス タガタイ	ラスピニヤス・タガタイ観光 ・ラスピニヤス教会(ハンブーオルガン) ・ジプニー工場 ・タール湖(ピープルズ・パーク・イン・ザ・スカイ)	専用バス ジプニー	朝:ホテル 昼:フィリピン料理 夜:スペイン料理
			午後	マニラ	マニラ(イントラムロス)観光 ・サン・アグスティン教会 ・カーサマニラ ・サンチアゴ要塞 スモーキーマウンテン視察		
5	8月5日	月	6:30	ホテル	マニラ空港へ	専用バス	朝:ホテル 昼:機内食 夜:自宅
			7:00	マニラ空港	マニラ空港発 9:30 成田空港着 15:15	航空機	
			15:30	成田空港	成田空港発 19:00 新千歳空港着 21:00	航空機	
			21:45	市役所	解散	専用バス	

こども国際交流事業派遣事業を終えて

今年度の事業は、新たな訪問地としてフィリピンへの派遣となり、苫小牧市代表の中学生10人は、実績のない未知の国での有意義な研修を目指して、8回の事前研修を積み重ねての旅立ちとなりました。

お陰様で、8月の雨期の季節にもかかわらず運良く天候にも恵まれ、たくさんの思い出と満足感を心に詰め込んで帰国することができました。過日行われた岩倉市長さんを迎えての帰国報告会での代表中学生10人の姿は、事業を通して、彼らの心と考え方が大きく成長したことを実感させてくれる発表となりました。

フィリピンの言語はタガログ語ですが、小学校から英語が教えられており、公用語として英語がコミュニケーションツールとなっています。5日間の様々な交流が深まれば深まるほど、子どもたちは英語で思うように交流できない自分たちのもどかしさを感じたことと思います。これからのグローバル社会を生きるなかで、英語を話せることの重要性を認識し、英語を学ぶ意欲をかき立てられたようです。

現地の人たちとの交流は、人なつっこく笑顔が素敵な幼少年の通う70人規模の聾学校、どの教室も生徒で溢れきっている3000人の生徒が在籍する公立学校での熱烈な歓迎、そして、来苫経験のある大学生が1人1人の中学生とペアとなり昼・夕食を共にしながら市内散策をエスコートしてくれました。異年齢の人たちの交流を通して、明るさと笑顔、逞しく生きる力を持っている国民性に接した子どもたちは、今の日本での自分の生き方を考えさせられる、絶好の機会となりました。

5日間の滞在で、3度の植民地支配に耐えた歴史的建造物、ピープルズ・パーク・イン・ザ・スカイのマルコス独裁政権栄華の跡地、東京ドーム8個分が入るスケートリンクを兼ね備えたアジア最大級のショッピングモールがある一方で、スモークマウンテン(ゴミの山)に生活の糧を求める果てしなく続くスラム街や物乞いや路上生活者がいる発展途上国、フィリピンの光と影を見聞できたことは、子どもたちにとって大きな衝撃をあたえた貴重な体験となりました。

日本という国に生まれ、何不自由なく生活していながら、その当たり前前の幸せに不平不満を募らせ、もっと、もっとと『してもらおう』ことばかり求めている日本の子どもたちがいます。フィリピンの子供たちは、貧しくても、明るく笑顔で、自分以外の家族や周りの人たちに『してあげる』ことへの幸せ感を大切にしながら生活を営み、逞しく生きていることに気づかされました。10人の代表中学生も同じ気持ちを抱いて帰国し、自分たちのこれからの生活や生き方に活かしていくことができる、大変貴重な5日間であったと確信しています。

終わりになりますが、この事業の実施にあたり、苫小牧市市民自治推進課をはじめ関係者の皆様には、多大なご尽力・ご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

平成25年8月

団長
苫小牧市立青翔中学校
校長 及川 信道

中学生フィリピン派遣団に参加して

リーダー 逢坂 晴菜

私達10名は8月1日にフィリピンのマニラを目指して出発しました。

飛行機の中では、今か今かとマニラの街並が見えるのを心待ちにし、マニラに到着したときには、初めて見る景色からニオイまで、全てのことに感動しました。

次の日から始まった研修も、私にとっては感動や驚きの連続でした。マニラの大都会を歩くたくさんの人々、美しい建造物や壮大な自然、そしておいしい食べ物。様々な新しい体験の中で私達はたくさんのことを学び感動しました。

中でも一番感動したのは、人達の明るい笑顔でした。フィリピンでは、子供から大人まで誰もが、私達に素敵な笑顔を向けてくれました。私はその暖かい笑顔をととても嬉しく思い、彼らを尊敬しました。そして笑顔の大切さ改めて実感しました。

また、交流した学校の生徒や大学生達も、優しい笑顔でたくさん話しかけてくれました。私はよく人見知りをしてしまうので、明るく元気で積極性に溢れた彼らを見て、自分もそうなりたいと思いました。私はこれからフィリピンの人々をお手本にして少しずつでも変われるよう努力します。

感動した反面、悲しく思った所もありました。それはスラム街です。私は事前に本や研修を通して、フィリピンの貧困問題について学びました。しかし、実際にスラム街を目にしたときには言葉が出ませんでした。道一面にゴミが広がり、そのたくさんゴミの中からお金になるものを拾う人々、今にもこわれそうな家々。どんな言葉を使ってもその現状を表現できない程の悲惨さでした。

しかし、そんな中でも驚いたのは子ども達がみんな笑顔で、私たちに手を振ってくれたり、楽しそうにバスケットをしたりしていたことです。私はその光景を見てとても不思議に思いましたが、ガイドさんが「彼らはこの生活で満足している」と言ったのを聞き、当たり前だと思っていた自分の生活がどれほど豊かで恵まれていたのかを思い知らされました。

私は今まで生きていくのに困ったことも、そのために働いたこともありません。しかしそれは、当たり前ではないということ、今回実感しました。そして、これからは、今の生活に感謝して一日一日を大切に過ごしていきたいと思いました。

今回フィリピンに行くことができたことは、私の人生の中で、とても貴重な体験でした。こんな体験をさせてくれた、たくさんの人々に感謝すると同時にこれからの自分の人生に役立てていきたいと思えます。

旅行記

第1日目 8月1日(木)

八木 堅三

8月1日、集合時間はお昼だった。海外に初めて行くので、とても楽しみだ。みんな集まると、リーダーが出発の挨拶をして、みんなに見送られながら空港へ出発した。



バスの中では、サインをする書類があり、意外と忙しかった。マニラへは直行便が無いので、まずは千歳から成田へ。チェックインまでは時間通りだったけれども、搭乗が15分ぐらい遅れた。少し遅れて搭乗し、その後すぐに離陸。のんびり景色を眺めていると、隣の席にいる長身のアメリカ人が「兄弟？」と話しかけてきてくれて、会話が少し弾んだ。

そうこうしているうちに成田空港へ到着。するとここで、マニラ行きが1時間半ほど遅れていることが判明。とりあえず、夕食まで時間が空くので軽食とショッピングの時間になった。僕たち男子はお店を見ながら展望デッキへ行き、パンを食べた。

短いフリータイムも終わり、出国の手続きへ。出国審査場は案外空いていて手続きもすぐに終わったが飛行機が遅れていた分、その後の時間は長かった。みんな、国内空港最大の免税店街や航空会社のお詫びのパン・マフィン・ジュースを堪能した。結局、約2時間遅れて飛行機は出発したが、滑走路も混んでいて、離陸までさらに15分くらいかかった。

機内の各シートにはモニターが付いていて、映画やゲームが楽しめた。機内食は和と洋の2種類を選べて、僕は牛カルビ焼き御飯がメインの和食を食べた。

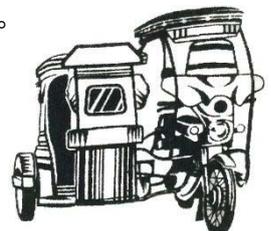


ちょうど見ていた映画が終わると、これから行くルソン島上空だった。マニラやその近郊の夜景はとてもきれいだった。そして空港へ到着。飛行機を降りると英語とタガログ語の挨拶で迎えてくれた。

その後は、入国審査。僕たちは親と一緒にではなかったため、厳しい審査を受けることとなり、別室で数十分待つて、やっとフィリピンに入国出来た。その後、すぐにバスへ。機内で現地の気温が26℃と言っていたので、外は暑かった。バスにはこれからお世話になる、日本語がとても上手な現地のガイドさんが待っていた。ホテルまでの約20分間は、両替やガイドさんの紹介、明日の確認をした。



自分の部屋に着くと、すぐにシャワーを浴びて僕たち男子は2時半頃に寝た。トラブルで、もっと遅く寝た所もあったようだ。疲れたけれど、明日の活動が楽しみだ。



第2日目 8月2日（金）

越田 華成

8月2日、初めてのフィリピンの料理、初めてのフィリピンの朝。

「今日行く学校はどんなところだろう？現地の人達とちゃんとコミュニケーションをとれるだろうか？」という、疑問と不安を抱えながら朝をむかえた。

バスに乗り込み、ケソン市にある、セント・フランシス聾学校へ向かった。バスが走り、距離が進むにつれて、どんどん緊張が襲ってくる。聾学校に着くと、歓迎のメッセージが書かれた黒板があり、少し緊張がほぐれた。



聾学校の生徒から歓迎の歌とダンスを披露してくれて、その後、私たちが各教室に行って英語で折り紙を教えた。言葉がなかなか伝わらないことも多々あったが、フィリピン人の先生が手助けをしてくれ、生徒も楽しそうに折り紙をしていたので嬉しかった。



セント・フランシス聾学校を後にし、私たちの滞在するホテルのあるマカティ市に戻り、Gen pio der Pilar National High Schoolを訪れた。ここは13歳から16歳の3000人もの学生が通う、公立の中学校だ。ちょうど、

学校は、テスト期間ということで、生徒がたくさん勉強していたことが印象に残っている。そんな中、わざわざ時間をさいてもらい、歓迎会が行われ、ダンスや歌を披露してくれた。

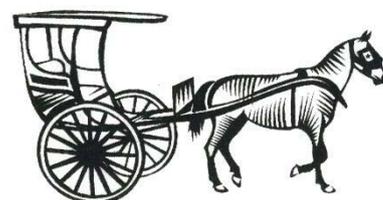


次に私たちは、JICA フィリピン事務所を訪問し、日本がフィリピンでどのような支援をしているかなどの説明を聞いたり、疑問に思ったことについて質問をした。



この日の予定もほとんどが終わり、夕食の前に現地のスーパーマーケットへ行った。日本でもよく見かける、ポッキーなどのお菓子が売っていて、とても驚いた。初めて入る海外のスーパーマーケットは私にとって、まるでWonderlandだった。

二日目は、初めてのことがたくさんあったが、その分、たくさんの思い出と経験をつむことができた。残りの3日間も、今日以上の思い出と経験をつみ、楽しんで日本に帰国したい。



第3日目 8月3日（土）

月足 雪乃

8月3日、苫小牧に来たことのある大学生と交流するため、7時半にロビーに集合した。すると、大学生たちはすでに集まっていた。

大学生と一緒になので昨日よりも大きなバスに乗り込むと、大学生とペアを作って一緒に座ることになり、私はデιβという男の人とペアになった。デιβと一緒に座っていると「どうしよう。どんなこと話せばいいんだろう。」とすごく緊張してきたが、デιβから話しかけてきてくれて、すこしホッとした。おかげでその後は、自分からも話しかけられるようになった。



午前中は、ナショナル・ユース・コミッションという政府機関の広い部屋で大学生と交流した。私は、越田さんと一緒に大学生に茶道のことを教えたり、実際に飲んでもらった。2人で協力して、たくさんの量をたてたので、少し手が痛くなったけど、終わった後に「おいしかったです。」と言ってもらえたので、頑張ってたよかったなと思った。



茶道以外にも、他の団員は書道で、自分の名前や日本のアニメの名前を書いて交流した。そして、ここでは最後にフルーツバスケットをし

た。10回目で立っていた人が罰ゲームとして歌を歌うというルールでやり、すごく盛り上がったが、罰ゲーム当たったのは私だった。みんなの前で、ヒーローテーションを歌うことになり、少し恥ずかしかった。



その後、Max's という有名なレストランで昼ごはんを食べた。そこでも大学生の人とたくさん話したりして、すごく楽しかった。

昼ごはんを終えて外に出ると、雨が降っていたが、バスに乗ってモール・オブ・アジアというショッピングモールに向かった。そこでデιβと一緒にお店をまわり、お土産などを買った。キーホルダーや洋服などがたくさん置いてあってとてもワクワクした。

そして夜ごはんを食べに、モール内のJolibee というハンバーガー屋に行った。注文する時はすごくドキドキしたけど、英語できちんと注文ができた。ハンバーガーはとてもおいしくてびっくりした。



その後またバスに乗って移動して、8時過ぎにホテルについて大学生と写真をとったりしてからお別れをした。少しさみしかった。

第4日目 8月4日(日)

児玉 一輝

四日目は、マニラとタガイタイ観光をした。

最初に世界で唯一の竹製パイプオルガンがあるラスピナス教会へ行った。ちょうど、ミサの様子や聖歌を歌っているところを見れて、言葉はわからないけれど、声がきれいで感動した。



その後、ジブニー工場を見学した。ジブニーの元となった米軍のジープや製作中のジブニーを見ることができ、みんなで記念撮影をした時に、運転席に座ることができた。

次にタガイタイへ行き、ピーブルズパーク・イン・ザ・スカイから火山活動によってできたタール湖と、世界最小級の火山、タール火山を見た。タール火山は思った以上に大きかった。

昼食は、フィリピンの料理が、たくさん出てきて、どれも美味しかったが、特にデザートのココナッツの中に紫イモのアイスが入ったものが美味しかった。



昼食後、マニラの旧市街地イントラムロスの中にある世界遺産、サン・アグスチン教会へ行った。教会の中は、日本では見られないような展示品がたくさんあり、自分がヨーロッパにいるような気分になった。



次に、カーサマニラへ行った。ここでは、スペイン統治時代の上流階級の邸宅を見学し、当時の生活風景を見ることができた。当時の生活は、とても豪華でうらやましく感じた。

次に、サンチアゴ要塞へ行った。中には、ホセ・リサールが処刑される時に処刑場まで歩かされた足跡が残っていて、その足跡をたどって歩いたら、歩幅のせまさに驚いた。

夕食の前に、スモーキーマウンテンというゴミ集めをして暮らす貧しい人たちが住む地域を車窓から見た。映画などで事前に勉強していたが、自分たちの生活との違いに驚いた。



夕食はフィリピンの伝統的な踊りを見ながらスペイン料理を食べた。たくさんの料理の中でも、パエリアが一番美味しかった。

最後に、ホテルに戻り、みんなでフルーツパーティーをした。南国のフルーツはどれも美味しく、中でもドラゴンフルーツが一番美味しかった。フィリピン最後の夜は、みんなで盛り上がり、すばらしい夜だった。



最終日 8月5日(月)

伊藤 春風

いよいよこの旅行も終わりを迎えようとしている。前日、ガイドのバージさんと添乗員の伊藤さんへの寄せ書きをされていて寝るのが、12時になってしまったので、6時30分の出発は少し辛かったが、それよりもフィリピンを離れるさみしさが私の中でこみ上げてきた。

バージさんとはマニラ空港でお別れだ。空港へ向かうバスの中で寄せ書きを渡すと、喜んでくれて本当に良かった。この5日間、私たちが初めて訪れた国で楽しく安全に、そして多くのことを学べたのはバージさんのガイドがあったからだと思う。教わったフィリピンの歌や文化などを日本で私たちが広めて行きたい。本当にありがとうございました。

私たちはバージさんとの別れを惜しみながらマニラを飛び立った。隣の席で晴菜ちゃんが「フィリピンを離れるのがさみしい…」と言って、やっぱりみんな同じ気持ちなのと思った。楽しみにしていた機内食のメニューは和と洋2種類で、和のメインが「豚ロース焼肉」、洋が「白身魚のソテー・小海老のナンチュア風ソース」だった。私は洋食を選び、ナンチュア風ソースというのは初体験だったけどおいしかった。味が少し濃かったのは外国の方の口にもあうように、ということなのだろうか。



途中、気流の影響で揺れた時があり、コップのお茶が揺れのせいでこぼれてしまう程だった。飛行機には何度か乗った事があるが、こんなに揺れたのは初めてだったので怖かった。

約6時間で成田国際空港に到着し、少し早め

の夕食をとることにした。マクドナルドなどのファーストフード店もあったが、やっぱり日本に帰国して最初に食べるのはお米だろうと、みんなでお茶漬け屋さんに入った。注文して席に着くと氷の入ったお水が出てきて、感動した。フィリピンではぬるいお水、または満足に水を飲むことが出来ないこともあったので、今まで当たり前のように出てきた氷の入ったお水を、何も気にすることなく飲めることは本当に幸せなことで、日本がすばらしい国だということを実感した瞬間だった。

新千歳空港で、添乗員の伊藤さんに寄せ書きを渡してお別れした。いつも私たちのお世話をし、人生のお話まで聞かせてくださった伊藤さん、心配をかけたこともありましたが、本当にありがとうございました。



市役所に到着すると、家族が迎えに来てくれていてうれしかった。私たちは、最後にバスの中で練習したあいさつをして解散した。

この5日間、目にするもの、体験するもののすべてが初めてで、驚きや感動がたくさんあった。それと同時に日本で今生活できているのは当たり前のことではなく、それはすごく幸せなことだということもわかった。

最後に、今回私たちをフィリピンに行かせてくださった市役所のみなさま、事前研修でお世話になったヘイゼルさん、お父さん、お母さん、家族のみんな、引率してくださった及川校長先生、石田先生、榊田さん、本当に感謝しています。ありがとうございました。

フィリピンの大学生との交流

島瀬 和

私たちは3日目に、昔小坂に来たことのある大学生と交流しました。私のペアの大学生はkingという男性の方でした(笑)フィリピン大学(日本でいう東大レベル)に行っていて、とても頭がよくて、日本語も少し話してくれました!!
始めはきんちょうして、あまり話せませんでした。が、じょじょになれていき、少しずつお話しすることができました。前のせきにあっていたかなちゃんとかなちゃんのペアの方と4人でもお話しできてとても楽しかったです(笑)!



そして、アツア最大級の「モール・オブ・アツア」へ行きました。尾形ペア、小五ペアと私たちのペアで回りました。大学生の方に案内されながら、たくさんのお店を見ました。



お店をある程度見おわってから、Jollibeeで晩ごはんを買おうとしたら、大学生の方たちがおどってくれました。本当に頼ってばかりで申しわけなかったです(……)

NYC(ナショナルユースコミッション)では、一緒に書道、茶道をしました。書道では、kingと「王」という字と「友達」という字をおしえてからかいてもらいました。字が上手でびっくりしました。最後はフルーティバケットをして、フィリピンの方にも楽しんでもらえたと思います。



最後は私たちのとまっていたホテルのロビーでおわかれとなりました。私はkingと一緒に写真を撮りました。最後に2人でツーショットがとれて、



とてもうれしかったです。言葉が通じなくて、困ったこともありましたが、それ以上にもおどろいた事、楽しかったことが多く、とても貴重な体験になったなと思いました。大学生のみなさん、またいつかお会いしましょうね!!

フィリピンの学生たち

尾形 ひかり

フィリピンでは、聾学校、高校、大学の生徒さんたちと交流しました。聾学校では、生徒さん達がホニョのダンスで歓迎してくれました!

そして、お礼を言ってお別れしました。

少し恥ずかしがっている子もいましたが、みんな元気で、かわいかったです。

お礼を言った時、生徒さん達がすごく器用で、びっくりしました。最初の訪問場所では、私は緊張していましたが、生徒さんが楽しくお礼をしてくれたので、仲良く交流することができました。



フィリピンの高校は、日本の中学校にあたるようです。高校には同じくらいの年の人がたくさんいました。カメラをむけるとピースをしてくれたり、階段ではこぼさないように手を握ってくれたり、高校の生徒さん達は、優しくてフレンドリーな人ばかりでした。

他にも、フクロのようなダンスを披露してくれたり、ものすごく歌が上手な女の子が、日本の歌を歌ってくれたりしました♪

フィリピンの学生さんは、勉強以外のこともがんばっていて、すごいと思います。

名刺を交換する時には、笑顔でいろいろ話しかけてくれて、嬉しかったです。楽しかったです。

信号待ちをしていた高校生も、ピースをしてくれました★



大学生の方達とは、習字やフルーツバスケットをした後、モールに行って一緒にお買い物しました!

習字をした時には、「ホストファミリーの名前を書いて!」と言われた人が多かったみたいです。なぜか「たまごっち」と書いていた人もいました。

フルーツバスケットは、バツゲームを設定してやりました。バツゲームは歌を歌うだったので、なんと2回中2回、団員がバツゲームになってしまいました🍓

そして、私はバツゲームでAKB48の歌を歌いました…。恥ずかしかったけど、盛り上がりまくったので、良かったです。

モールに行った時に、大学生の方達が、キーホルダーを買ってくれたり、夕食をおごってくれたりしました! ありがとう♥

フィリピンで出会った人達は、みんな笑顔で、優しくてフレンドリーで、素敵な人ばかりでした! フィリピンの人達の明るさに、私達はたくさん元気と笑顔をもらいました☀️

♡ サラマ ポ (ありがとう!)



フィリピンの学生との思い出

小玉 紬



私達は、セントフランシス
ろう学校に行きました。
着いたらまず、校長先生が
学校についての説明を
してくれました。



とてもわかりやすく、おもしろかったです☆

次に、子供たちと交流をしました。歌をうたったり、折り紙を
教えてあげたりしました。すごくよろこんでくれて、

あったかい気持ちになりました😊

とても楽しい時間を

過ごしました!!



中学校に行くヒ、みんな笑顔でむかえて
くれました。テスト中なのに、窓から手をふって
くれたり、写真をとってもらったりして、とても

嬉しかったです♡それに、すばらしいダンスや歌のパフォーマンスをひらうしてくれたり
ジュースやおやつなどのおみやげもいただきました😊

最後は中学生と一緒に写真を撮ったり、名刺交換をしたりと、
たくさん交流しました!! とても楽しかったです☆



私のパートナーは、クリスティンさんという女性
の方でした。クリスティンさんはとてもやさしくて
かわいらしい人でした。😊♡



私は、クリスティンさんと一緒に、モール オガアジアという
ショッピングセンターで買い物をしました。

アクセサリーを買いたいと言うと親切に
お店につれていってくれてうれしかったです♡

最後には、みんなで花火を見ました。
とってもキレイでした!!



フィリピンの大学生と過ごした一日

松村 凜香

フィリピンに行って3日目にフィリピンの大学生と交流しました。
初めにレポートを決めました。
私のレポートはライさんでした。(´・ω・´) /
ライさんはやさしくてきれいな大学生でした。(´▽｀)。
バスの移動中にたくさん話しかけてくれました。
そのおかげで少し緊張がほぐれました。(´▽｀)。
周りの大学生のトたちとたくさん話すことができて嬉しかったです(´▽｀) /



まず始めにナショナルコースコミッションという建て物に行って
大学生とフィリピンについて学んだり、フィリピンのお菓子の
ようなものを食べたりしました。
おいしかったです(´▽｀)。
その後フルーツバスケットをしました。
とても楽しかったです(´▽｀) /



その後大学生とご飯を食うに行きました。
とてもおいしかったです。ライさんはイスラム教の方で一緒にご飯を食うことができませんでした。
さみしかったけど、とても勉強になりました(´▽｀)。
昼食を食べた後マーケットマーケットという

お店に行ってお土産を買ったり、モリスオクアシアという大きなお店に行ってご飯を
食べたり買い物をしてしました。ライさんは私に色々な物を買ってくれて、とても
うれしかったです(´▽｀)。最後は花火を見ました。
きれいでした。帰りのバスは、ず〜と話していました。
どこに行くにも、後ろにライさんがついて来てくれて、
安心して行動することができました。
とても楽しかったです。



お別れの場所は私たちが泊ったホテルでした。
最後にみんなで写真を撮りました。もう二度と出来ない
体験が出来たと思いました(´▽｀) / お別れするのがとても
さみしかったです(´▽｀) 次は苦小牧に来てほしいです(´▽｀) /



研究報告

第1グループ

逢坂晴菜・尾形ひかり
児玉一輝・小玉紬・松村凜香

発表テーマ

フィリピンふしぎ発見!



フィリピンの歴史は、スペイン統治前、スペイン統治時代、アメリカ統治時代、そして独立後の現在に分類され、中でも152年-1898年の間、スペインに植民地として統治されていた時代の文化や遺産が多く残っていた。

サン・アグスチン教会 英雄 ホセ・リサール

フィリピン独立運動の闘いで、国民的**英雄**、医師、作家、画家で、語学の天才でもあった。本や新聞などを執筆し、民衆に独立を呼びかけた。それが原因で、スペインから怒りを買って、1896年12月30日に処刑された。

フィリピン独立運動の闘いで、国民的**英雄**、医師、作家、画家で、語学の天才でもあった。本や新聞などを執筆し、民衆に独立を呼びかけた。それが原因で、スペインから怒りを買って、1896年12月30日に処刑された。

サン・アグスチン教会には、ホセ・リサールがスペインに処刑される時に、処刑の場（今のリサールパーク）まで歩いてきた足跡が残っている。

フィリピンはスモークマウンテン

赤 → 庭やプールがある大きなお家。裕福な家。階級が高い。

黄 → 日本のリッチなお家風。中間層。

青 → とたん板や布でできている。貧困層。

これがフィリピンの現実なんだと実感した。

ものごいLIFEトイレ

ものごいとは、観光客や大人たちにお金を恵んでもらおうとすること。石田先生が実際にものごいに合た。がなくて実際困った。

フィリピンのトイレにはトイレトイレットペーパーがなく、紙は、いらしたら便器の横のゴミ箱にすてる。トイレットペーパーがないと実際困った。

スペイン料理

有名なピエリア、シチューのようなもの、焼きうどんのようなものなどがあります。

フィリピン料理

肉と野菜のスープ、肉の煮物、魚、かにの天ぷらなどが出ました。付けあわせで、小さいすだちのような物や、みそのような物がありました。フィリピンのカレーもありました。フィリピンのファストフード店No.1は「ジョリビー」というお店でした。

ホテルのビュッフェ

コーンフレークやスイカはあまり甘くありませんでした。おかずは、しょうゆの味がよく、白米は1951年くらいにありました。ジュースなどはすごく甘い物もありました。

ショッピングセンターのビュッフェ

日本食がたさんありました。日本語のメニューがローマ字で書かれていて驚きました。

フルーツ

日本でフィリピンのフルーツといえば、バナナですが、フィリピンで一番有名だったのは、マンゴーで、他にもフィリピンにはたくさんのフルーツがありました。

研究報告 第2グループ

伊藤春風・越田華成
島瀬和・月足雪乃・八木堅三

発表テーマ

秘密のフィリピンSHOW



教育システム

エリクソン
6年制 (小・中・高)
ハイスクール (高校)
4年制
カレッジ (大学)
4年制
大学院

大学生

まず最初にNYCへ行き、茶道、書道をした後、フルーリッパセットをして交流しました。そして、アッパ最大級のモール、オブ、アッパで、おみやげ等を買い、Jollibeeで晩ごはんを食べ、花火を見ました。ホテルのロビーで大学生と写真を撮ったり、プレゼントをもらったりとお別れしました。ありがとう!!

高校生

フィリピンの子たちはとても友好的でした。国家を歌う時、映像も一緒に流れました。その後、ダンスや歌でもてなしてくれました。また、フィリピン風のサキスは、おもち、ジュースをもらいました。

小学生

広場に行くと、2曲一緒に歌いました。ホニョがながれておどきました。そして、各教室で折り紙を教えたり、ゆかたを着せてあげたりしました。さいごにおみやげとして写真を撮りました。

警備

フィリピンは治安があまりよくないため、学校に警備の人が高い塀などがありました。柱、木の扉ではなく、鉄の扉でした。

HISTORY of PHILIPPINES

1521 スペイン

イントラムロス サン・アグスチン教会

フィリピン最古の石造りの教会 世界遺産にもなっている

カーサマニラ

スペイン時代の代表的な家を再現した博物館

アメリカ 1898

サンチアゴ要塞

フィリピン支配の根拠地になった場所

ラスピニャス教会

パイオルガンがある教会

ピープルズ・パーク・イン・ザ・スカイ

見晴らしの良い山の頂上に作られた別荘

戦争 独裁 1946

JICAの高層ビルのベランダから、ペナンダは40階で上にはさらに10階くさいりました。

現在

今は廃墟になっています

工事現場

フィリピン人は、仕事に「おなか」を出していました。

はたかご 親を待つ兄弟

Q この子たちは、はたかごを何をしているのでしょうか?

スーパーマーケット

日本でおなじみのきこの山やポッキーなどのおかしが、たくさんおいてありました。パッケージは日本と同じでも、成分表示は英語!

その他

フィリピン物 交通渋滞

フィリピン人のほとんどが、ビーチサンダルをはいていました。

アニメ

「ガーデンシーク」が今どきのハヤリ!!

スラム街に住む人たちは、公共の場には、はやっています。(マンションのベランダから、木の枝が……!)

住

富裕層の家は、こんなかんじ!!

富裕層の家は、とても質の高い「さく」がありました。治安の悪さがわかります。

貧困層

富裕層

旅の思い出



結団式



出発式



事前研修(全8回)





1 日 目



2 日 目





3 日 目



4 日 目





5日目



報告会





平成25年度苫小牧市こども国際交流事業
中学生フィリピン派遣団報告書

平成25年10月発行

総合政策部 政策推進室 市民自治推進課

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号

TEL 0144-32-6157 (直通)

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/siminjiti/>